



大きな栗の木の下で

1月31日で

国スポまで**240日**・障スポまで**267日**。

今年9月～10月に開催される、「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」

大会は、栗東の魅力発信や交流人口増加にもつながる絶好の機会です。

議員一人ひとりも実行委員会の一員として、大会の成功を目指して、いっそうPRしていきます。



特集	栗東で国スポ・障スポを盛り上げよう！	02
議案	12月定例会	04
委員会	各常任委員会ピックアップ	06
個人質問	ここが聴きたい 市政を問う	08

今回は議会広報編集
特別委員会の委員が
大会に向けて特集で発信！

栗東で



国スポ・障スポを 盛り上げよう!



「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会(「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」)」が今年、滋賀県で開催されます。国民スポーツ大会(以前の国民体育大会)は、毎年開かれる国内最大のスポーツの祭典、全国障害者スポーツ大会は、国スポを開催した都道府県で開催される、全国的な障がい者スポーツの祭典です。滋賀県での開催は、昭和56年の「びわこ国体」以来、44年ぶり2度目の開催となります。

栗東で開催されるのは7競技

わたSHIGA輝く
国スポ・障スポ 2025

国スポ 開催日
2025年 9月28日 ▶ 10月8日

障スポ 開催日
2025年 10月25日 ▶ 10月27日



ゴルフ

国スポ
正式競技



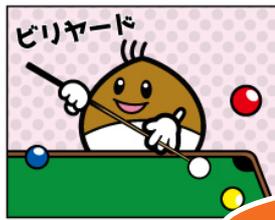
レスリング

国スポ
正式競技



パワーリフティング

国スポ
公開競技

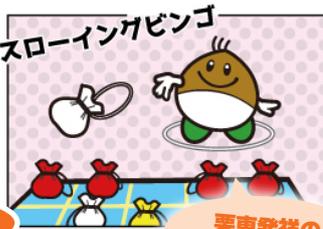


ビリヤード



スポーツチャンバラ

国スポ
デモンストレーションスポーツ



スローイングビンゴ

栗東発祥の
ニュースポーツ



卓球バレー

障スポ
オープン競技

※大会の詳細や栗東市の取り組みはホームページをご覧ください。運営ボランティアも募集中!



▲ホームページはこちら

みんなで応援! 取り組みが進んでいます

手描きののぼり旗



市民による手作りの、のぼり旗が制作されています。

応援メッセージ



たくさんの応援メッセージが届いています。議員からのメッセージも! 詳細はこちら▶



花いっぱいのにまに



育てた花で競技会場や周辺施設等を彩るため、市内で花いっぱい運動を展開中。

大宝東小学校6年生、県立聾話学校小学部の子どもたちが炬火受皿の装飾づくりを担当

大会では、県内各市町で炬火の火をおこす「採火」を行います。採火した炬火を一時的に灯すランタンの役割となるのが、炬火受皿です。炬火受皿の装飾を市内の2校が信楽焼で制作しました。琵琶湖に住む生き物や住んでいる地域に馴染みのあるものをモチーフに子どもたちが考えた作品となっています。

大宝東小



くりちゃんも!



聾話学校

大会成功のため、市議会でも活動してきました

実行委員会で大会に向けて団結

令和6年6月7日に開催された実行委員会では、地域一丸となって大会の成功に向けて取り組んでいくことを確認しました。



レスリング競技のリハーサル大会を観戦

令和6年6月21日から23日まで市民体育館で開催された「第60回近畿高等学校レスリング選手権大会」。この大会はレスリング競技のリハーサル大会として開催され、体がぶつかり合い、次々と繰り出される技に、議員も応援に力が入りました。



文教福祉常任委員会で佐賀県嬉野市を視察

2024年のレスリング競技会場となった佐賀県嬉野市を視察し、大会の様子を見学しました。詳細は13ページをご覧ください。



参加型イベントで競技体験

令和6年11月4日、市民体育館で開催された「スポーツ体験フェスティバルINりっとう」。市民の皆さんとともに議員も栗東市で開催される7競技を体験しました。



国スポ・障スポ 開催に向けて

開催まで約8か月と迫りましたスポーツの祭典『第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会』。

昭和21年(1946年)京阪神での第1回大会から、昭和62年(1987年)の沖縄大会で全国を一巡し2024年の佐賀大会からは「国民体育大会」の名称も「国民スポーツ大会」と改め、より幅広くスポーツを楽しめるようにと工夫されています。

今大会では栗東市内で正式競技2種目、公開競技1種目、デモンストレーションスポーツ3種目、障スポオープン競技1種目と、多種多様な競技の熱戦の火蓋が切られます。それぞれにわがまちにゆかりのある競技ですが、なかでもスローイングピンゴはわがまち栗東市が発祥のスポーツ。ぜひ、これを機会に観戦し、体験し、ニュースポーツにも親しんでみてください。県内開催は44年ぶりとなる国スポ・障スポ。市を挙げて全国から競技者・観戦者をお迎えしたいですね。

わたくしたち市議会では令和5年(2023年)6月の第1回栗東市実行委員会から名前を連ね、成功に向けて全面的にバックアップしております。

<特集担当:梶原、寺田>



審議した議案など

件名	採決結果
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準等を定める条例及び地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例 (地域包括支援センターの職員配置基準を緩和するため)	可決・別表
市営住宅管理条例 (市営住宅の入居者資格について、同居人要件を緩和するため)	可決・全
市長、副市長の給与等に関する条例及び栗東市教育委員会教育長の給与等、勤務時間その他の勤務条件に関する条例 (人事院勧告に伴う期末手当の支給月額の改正)	可決・別表
職員の給与に関する条例等 (人事院勧告に伴う給料月数、期末勤勉手当の支給月数の改正)	可決・全

条例(一部改正)

件名	採決結果
道路線の認定について (上鉤下教田線、笠川稻荷神社公園線、縄十丁目街区4号線)	可決・全
指定管理者(指定しごと)	
自然活用総合管理棟の指定管理者として滋賀県森林組合を指定する	可決・全
こんぜの里バンガロー村の指定管理者として滋賀県森林組合を指定する	可決・全
森林体験交流センターの指定管理者として株式会社しびりこを指定する	可決・全
自然体験学習センターの指定管理者として株式会社しびりこを指定する	可決・全
意見書	
北方領土問題の早期解決等を求める意見書	可決・全
厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	可決・別表
子どもの福祉医療費助成の制度拡充を求める意見書	否決・別表

特集

定例会

令和6年度 一般会計 補正予算(専決)				
会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計(第4号)	3,582万3千円(増額)	281億7,810万4千円	総務費の増額	承認・別表

令和6年度 一般会計・特別会計 補正予算				
会計名	補正額	予算総額	主な内容	採決結果
一般会計(第5号)	10億1,022万9千円(増額)	291億8,833万3千円	民生費の増額等	可決・全
一般会計(第6号)	2億7,627万1千円(増額)	294億6,460万4千円	総務費の増額等	可決・別表
国民健康保険特別会計(第2号)	3万8千円(増額)	54億8,605万1千円	諸支出金の増額	可決・全
国民健康保険特別会計(第3号)	244万7千円(増額)	54億8,849万8千円	保険事業費等の増額	可決・全
後期高齢者医療特別会計(第1号)	201万4千円(減額)	8億8,424万3千円	後期高齢者医療広域連合納付金の減額等	可決・全
後期高齢者医療特別会計(第2号)	452万円(増額)	8億8,876万3千円	総務費の増額	可決・全
介護保険特別会計(第3号)	1億6,732万8千円(増額)	44億1,260万1千円	諸支出金の増額	可決・全
介護保険特別会計(第4号)	187万7千円(減額)	44億1,072万4千円	地域支援事業費の減額等	可決・全
大津湖南都市計画事業栗東新都心土地区画整理事業特別会計(第1号)	27万6千円(増額)	6,626万3千円	土木費の増額	可決・全
水道事業会計(第2号)	140万円(増額)	23億1,799万7千円	営業費用等の増額	可決・全
水道事業会計(第3号)	166万(減額)	23億1,633万7千円	営業費用の減額等	可決・全
公共下水道事業会計(第1号)	90万円(増額)	32億4,445万1千円	営業費用等の増額	可決・全
公共下水道事業会計(第2号)	12万6千円(減額)	32億4,432万5千円	営業費用の減額等	可決・全
農業集落排水事業特別会計(第1号)	46万1千円(増額)	2,628万5千円	農林水産業費の増額	可決・全

委員会

個人質問

委員会活動レポート

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案について表示します。(多=賛成多数、少=賛成少数 ○…賛成、●…反対)

案件	会派名 議員名	賛成 の数	新公会							ネットワーク			公明		共産		究理		未来
			上田 忠博	三木 敏嗣	里内 英幸	梶原 美保	西田 聡	寺田 靖広	奥村 明	田村 隆光	上石田 昌子	谷口 律香	川嶋 恵	塩見 隆	青木 千尋	伊吹 裕	武村 賞	櫻井 浩司	島田 利恵
予算	一般会計(第4号)	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	一般会計(第6号)	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
条例	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準等を定める条例及び地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	市長、副市長の給与等に関する条例及び栗東市教育委員会教育長の給与等、勤務時間その他の勤務条件に関する条例	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
意見書	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
	子どもの福祉医療費助成の制度拡充を求める意見書	少	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●

*議長(中野 光一議員)は採決に加わらない

*会派名の正式名称は次の通り ネットワーク(栗東市民ネットワーク)、公明(公明栗東)、共産(日本共産党栗東市議団)、究理(究理の会)、未来(未来創造りっとう)

12月議会では、意見書2件を可決し、政府関係機関に提出しました

北方領土問題の早期解決等を求める意見書

<意見書概要>

北方領土問題の解決のため滋賀県でも運動を展開してきましたが、歳月が過ぎ元島民の多くが他界され、また国際情勢の影響もあり運動の停滞や風化が懸念されています。早期解決に向けて、国に対し、返還要求運動の推進や北方領土教育の充実などを強く望む意見書を提出しました。



▲北方領土問題対策協会「北方領土ってどこにある?」[位置と面積]より

厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

<意見書概要>

会社員等が地方議会議員に転身する際に切れ目なく厚生年金の適用を受けられるようになれば、幅広い層からの政治参加や地方議会における多様な人材の確保に寄与すると考えられることから、国に対し、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を強く望む意見書を提出しました。



傍聴にお越しく下さい

本会議・委員会審査は、どなたでも自由に傍聴いただけます。

- ・開会時間は、いずれも9時30分を予定しています。
- ・日程については、現段階での予定であるため、変更になる場合がありますのでご了承ください。
- ・議場には車椅子を利用されている方の傍聴者席を設置しています。
- ・手話通訳者の配置をご希望の方は事前に議会事務局へ連絡をお願いします。
- 問い合わせ 議会事務局(市役所4階)
TEL:551-0137 FAX:551-0146
✉:gikai@city.ritto.lg.jp

議会の様子は、開催後速やかにYouTubeにアップしており、動画でもご覧いただけます。▶



3月定例会の予定

(土・日・祝は除く)

2月25日	本会議(議案上程等)
3月 4日~ 5日	本会議(代表質問)
5日~ 7日	本会議(個人質問)
10日~17日	各常任委員会
21日	本会議(委員長報告・採決)

※21日のみ13時30分に開会予定

常任委員会ピックアップ

～12月定例会での審査内容の一部概要をお伝えします～



※委員長報告を映像でご覧いただくことができます

予算常任委員会

「令和6年度栗東市一般会計補正予算(第5号)」の審議より

◆山の施設の指定管理委託料(2年間分)は本当に妥当な金額なのか?
(債務負担行為補正)

問 補正額が先方から提出された事業計画の金額と同額になっており、事業者の言い値になっているように感じるが、いつもこのようなり方なのか。

答 いつもこのようなり方ではあるが、あくまで限度額を確保するということであり、実際の執行額については今後の協議において決定する。

問 森遊館と森の未来館は同一業者となる予定だが、例えば業務が重なる部分については交渉ができる範囲があると考え。協定を結ぶ際に交渉すべきと考えるが、いかがか。

答 協定に向けた協議を進める中で最終的な内容を決定していく。

◆妊婦健診が半減している?(母子保健事業)

問 妊婦一般健康診査委託料が半減しているが、要因は何か。また、大事な健診であると思うが、健診を受けないことで影響はないのか。

答 対象者数の見込み減によるもので、当初、1か月66人を見込んでいたものが、現在60人程度である。また、14回すべてを受けられない方や早期に入院される方もおられる。受診券を受け取ったが妊婦健診を受診されない方はほとんどなく、フォローが必要な方には妊婦健診の受診も含めフォローしている。



所属委員 (◎委員長 ○副委員長) ◎上石田 昌子、○上田 忠博 議長(中野 光一)を除く全員

総務常任委員会

人事院勧告に基づく特別職、一般職等の給与等改定

◆令和6年人事院勧告(※)に基づき、本市の特別職、一般職等の給与等の改正における条例改正が提案されました。

① 栗東市市長、副市長の給与等に関する条例及び栗東市教育委員会教育長の給与等、勤務時間その他の勤務条件に関する条例、
② 栗東市職員の給与に関する条例等の2つの条例についての一部改正を審査しました。



△改正の主な内容▽

① 令和6年度に影響するもの(令和6年12月の期末手当の支給月数を0・05月引き上げ1・75月とする。

② 令和6年4月1日に遡及して給料表の水準を引き上げる。

※人事院勧告:日本の国家公務員の給与や勤務条件について、人事院が内閣および国会に対して行う意見や勧告。主に、公務員の待遇を適正に保つことを目的としている。

・令和6年12月の期末手当の支給月数を0・05月引き上げ1・75月とする。
また、勤勉手当の支給月数を0・05月引き上げ1・075月とする。

所属委員 (◎委員長 ○副委員長) ◎上田 忠博、○上石田 昌子、川嶋 恵、寺田 靖広、島田 利恵

「**常任委員会**」とは

市政は範囲が広く内容も複雑なため、市議会では、委員会を設けて本会議の予備的な審査や重要な事柄の調査をしています。現在、4つの委員会に分かれ、議案などを審査しています。

環境建設常任委員会

道の駅「こんぜの里りっとう」の指定管理等5議案を審査

◆指定管理者の指定について審査しました。

問道の駅「こんぜの里りっとう」は、比較的安定していると思うが、採点結果で、7名中3名が及第点にならなかった理由は。

答委員から施設のPRが足りない。販売物販が少ないなどの批判的な意見があった。



▲道の駅 こんぜの里りっとう

問「バンガロー村」の委託料が若干減額されている理由は。

答隣接するオートキャンプ場との相乗効果で、施設の利用者の増加が見込める。

問「森遊館」の指定管理候補者は、会社設立から2年未満で、フォレストアドベンチャーの管理実績しかない。管理者として問題はないのか。

答市顧問税理士に財務状況等を確認いただいた。特に、問題ないとの見解である。

◆市営住宅管理条例の一部改正について審査しました。

問18歳以下がいる場合の入居資格が緩和される。仮に18歳以下の子どもが働き、それなりの収入があれば、入居資格から外れるのか。

答世帯年収が月額21万4千円を超えると、入居資格の対象から外れる。

◆市道路線の認定について。

問上鉤下教田線と笠川稲荷神社公園線は、避難通路を設置しないのか。

答上鉤下教田線は、開発指需要綱により、設ける必要がない。また、笠川稲荷神社公園線は、先線が公共用地のため、設けていない。

所属委員 (◎委員長 ○副委員長) ◎武村 賞、○梶原 美保、田村 隆光、三木 敏嗣、里内 英幸、伊吹 裕

文教福祉常任委員会

介護サービスのさらなる充実に向けて

◆栗東市内3圏域の実情に応じた質の高い介護・福祉サービスの充実に向け、職員配置の柔軟化を可能とする条例改正について審査しました。

問今回の改正は、常勤職員がいなくても、非常勤職員で常勤換算できるという考え方だが、利用者へのサービスの低下につながるのか。

答今回の改正には2つの要素があり、例えば非常勤0.5人を2人で常勤1人とするこゝとができる常勤換算の部分と、各地域包括支援センターにそれぞれ3職種を充てるという形になっているところを柔軟に組み合わせることができるとい部分である。どちらの要素についてもサービス低下につながらないよう考えていく。

問条例改正後も、常勤職員がいる間はそのままの体制で運営しているのか。

答今回の改正は、今後人材確保が難しくなってきた場合の対応であり、当分の間は常勤職員でいけるものと考えている。



◆森の未来館の指定管理者についても審査しました。

問森遊館と指定管理者が同じになることでの相乗効果は見込めるのか。

答それぞれの施設の使用用途に違いはあるが、重なる部分については、コストを抑えるなどの相乗効果を念頭に置き、運営するよう指定管理者と話をしている。

所属委員 (◎委員長 ○副委員長) ◎西田 聡、○青木 千尋、櫻井 浩司、塩見 隆、奥村 明、谷口 律香

個人質問

ここが聴きたい 市政を問う

～12月定例会での個人質問と答弁の要旨をお伝えします～

問 …議員の質問
答 …市からの回答
意 …議員の意見

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	上石田 昌子	こんぜの里周辺施設の現状と今後のあり方について 栗東市北中小路地先の新工場建設計画の中止について	7	伊吹 裕	投票に関する権利保障と投票の方法周知について 市営住宅の現在と今後について 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)への児童・生徒招待事業について
2	寺田 靖広	ひとり親支援の在り方について	8	谷口 律香	変わりゆく地域と学校の未来像 ～大宝東小学校とコミュニティセンターの課題解決に向けて～
3	塩見 隆	認知症高齢者を狙った詐欺被害防止の見守りについて	9	島田 利恵	地域おこし協力隊制度と窓口相談における対応力・提案力の向上について
4	櫻井 浩司	栗東健康運動公園のあり方について	10	田村 隆光	誰一人取り残さないデジタル社会の実現に向けて
5	奥村 明	こどもまんなか社会の実現にむけて「第4期栗東市教育振興基本計画と教育大綱について」 中学校生徒会費の用途および公表について	11	三木 敏嗣	防災訓練について 生活保護について
6	武村 賞	栗東市における消費生活相談について	12	青木 千尋	安全な通学路の確保のために

特集

定例会

委員会

個人質問

委員会活動レポート



こんぜの里周辺施設の今後

上石田 昌子 議員



答 条例改正の検討も含め、幅広い事業展開を実施できる素地づくりができるよう検討中。



▲栗東市立森林体験交流センター 森遊館

問 この3年間に於いて浴室衛生管理の不備、記入済み宿泊カードの破棄および施設使用料の誤徴収、協議無き備品購入、備品台帳の更新不備、スタートが数か月遅れた上、食事の提供もままならない状況で運営するなど、行政の指導力が問われる事案が多々見受けられ、地元からの苦情も絶えなかった。その原因と今後について問う。

答 不備の原因は市と指定管理者による管理・運営に関する情報共有や確認手続きが不十分であったためであり、今後は指定管理協定書により書面協議を徹底し、毎月提出される業務報告書により事業実施状況・施設管理状況を確認する。

問 市の方向性案では「滞在・体験・魅力発信」と示されたが、金勝山帯の観光整備(登山ルートや掲示板、トイレなど)が進んでいない。ましてや、過日の市民アンケート調査内容は、固定概念や先入観を抱くやもしれない悲観的設問内容となっている。既存の施設管理条例の改正の検討と、利用客や売り上げの増加につながる幅広い事業展開を実施できる素地づくりを市に期待してよいか、見解を問う。

答 魅力発信と示されたが、金勝山帯の観光整備(登山ルートや掲示板、トイレなど)が進んでいない。ましてや、過日の市民アンケート調査内容は、固定概念や先入観を抱くやもしれない悲観的設問内容となっている。既存の施設管理条例の改正の検討と、利用客や売り上げの増加につながる幅広い事業展開を実施できる素地づくりを市に期待してよいか、見解を問う。

答 令和5年度の利用実績は6件、令和6年度は11月末現在で1件の交付を行った。

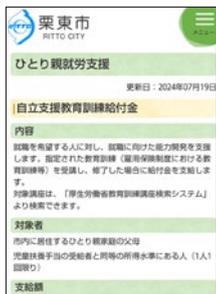
問 母子世帯の母の養育費の受給状況は28.1%。ひとり親の自立のための支援を実施しているか。

答 安定した就労に結びつく資格や技能の取得のための受講料や教材費を支援する「自立支援教育訓練給付金事業」、看護師や介護福祉士など専門的な資格取得のための講座受講中の生活費を支援する「母子家庭等高等職業訓練促進給付金事業」を活用し、ひとり親の方が経済的に自立し、安定した生活が送れるように支援している。



シングルマザーの自立支援

寺田 靖広 議員



▲ひとり親就労支援

意 シングルマザーが自立し、児童扶養手当(※)を受給する必要がなくなり、さらに収入アップが図れるよう、さらなる自立への支援をお願いする。

※児童扶養手当…父母の離婚などにより、ひとり親となった家庭の親などに児童の健全な成長を願って支給される手当。

問 父母が離婚した後、もう一方の親が養育費を負担すべきものと考え、養育費を確実に受け取るためには、公正証書にしたり、調停等で取り決める必要がある。本市では養育費の取り決め内容の債務名義化を促進し、養育費に関する公正証書等作成に必要な経費について補助しているが、補助金の前年度の利用実績と今年度の状況を問う。

答 令和5年度の利用実績は6件、令和6年度は11月末現在で1件の交付を行った。

問 母子世帯の母の養育費の受給状況は28.1%。ひとり親の自立のための支援を実施しているか。

答 安定した就労に結びつく資格や技能の取得のための受講料や教材費を支援する「自立支援教育訓練給付金事業」、看護師や介護福祉士など専門的な資格取得のための講座受講中の生活費を支援する「母子家庭等高等職業訓練促進給付金事業」を活用し、ひとり親の方が経済的に自立し、安定した生活が送れるように支援している。



認知症高齢者を狙った詐欺被害防止の見守り

塩見 隆 議員



問 超高齢社会と切り離せない課題が認知症である。認知症高齢者を狙った特殊詐欺が社会問題となっている。市民がこういった被害に遭う危険性をどのように考えているか。

答 一般的に高齢に伴って認知機能は低下するものと考えられることから、若い世代に比較してリスクは高くなるものと考ええる。

問 認知症高齢者やその家族の被害を未然に防ぐための啓発活動や情報提供はどのように行っているか。また、地域包括支援センターや民生委員との連携は。

答 高齢者に自宅の電話に取り付けられる啓発グッズを配布するなどし、注意喚起に取り組んでいる。地域包括支援センターでは、出前講座の実施など必要時に情報提供している。民生委員については犯罪被害等に遭わないように定例会で情報提供している。

問 地域などで開催される催しに参加されない方への訪問見守りが大切と考ええる。野洲市のような見守りリストは見守りを強化する上で必要と考ええるが。

答 有効な手段と考えるが、人員体制も含めた環境を整えるという課題もある。直ちに導入することは難しいため引き続き、周知啓発に努め、関係機関や関係課と情報共有を図りながら犯罪防止につながる取り組みを進めていく。



栗東健康運動公園のあり方

櫻井 浩司 議員



問 当初20頭の繋養予定が、乗馬クラブを運営するには30頭必要だとのこと。乗馬クラブありきで進めているように思えるが。

答 馬とのふれあいゾーンにおいて馬関連施設を中心に展開することを想定しており、乗馬クラブを決定しているわけではない。

問 公園管理についてはどのように考えているのか。

答 民間活力導入によるPark・PF-1や設置管理許可の手法を用いて整備を予定しており、これに伴う使用料を活用し、指定管理による管理を予定している。

問 周辺環境の配慮についてはどう考えているのか。隣接する旧RD最終処分場の跡地利用について、滋賀県が提案してきた様々な利用方法が示された中に農園という項目があったが、風向きによっては肥料の匂いが漂う可能性があるとして、評価は低かった。馬の糞尿や粉塵に対する対策は。

答 サウンディング調査において協議しており、馬の糞尿の匂いや粉塵は即時処理や定期的な散水などの対策を講じることで影響はほとんどないと聞いている。引き続き協議をしていく。



▲栗東健康運動公園建設予定地域(地図出典:Google)



子どもまなか社会の実現に向けて ～第4期栗東市教育振興基本計画と教育大綱～

奥村 明 議員



問 第4期計画も大綱も「地域の実情に応じたもの」としていくことは共通しているものと考ええる。現在、本市の教育における「地域の実情」とは。

答 特別な教育的支援を要する児童生徒や不登校児童生徒数の増加傾向が見られる。さらには、全国学力学習状況調査から、正答率が全国平均より低く、無回答率が高い状況。

問 学校給食は、子どもたちの食育の観点からも地産地消を推進されている市長の意向を第4期基本計画に盛り込んでいくのか。

答 学校給食の地産地消は「小・中学校、幼稚園等給食の充実」に位置づける。

中学校生徒会費の使途および公表

問 生徒会費が余っているのであれば、生徒会の中で使途の協議を行うことで、保護者の同意の元、様々な活動に対する補助を行うことはできないのか。

答 これまで「保護者の同意を得て様々な活動に対して補助を行う」という発想はなかったが、実現すれば「ご自身の意見表明権」の視点からも大変望ましい展開が期待される。

今後、生徒会費の公表と監査は。

答 生徒会総会の議案書を保護者が確認できるようにするとともに、保護者代表による監査を加えるなど、改善に向けて各校に働きかけていく。





消費生活相談窓口の充実

武村 賞 議員



- 問** インターネットやeメールやライン等、無料のアプリの普及により家族や親しい人との連絡手段も大きく様変わり。これらを利用することで、個人情報漏洩などリスクも存在する。便利なツールであるが、中には、偽りのSNS等による詐欺が多発している。滋賀県警によると今年の上半期の投資詐欺とロマンス詐欺で10億5900円の被害となっている。
- 答** 市ホームページや草津栗東防犯自治会の広報紙・防犯メール・市公式ラインで啓発している。
- 問** 日々の生活の中で個人情報情報の漏洩等で、詐欺商法に騙される事もある。消費生活相談窓口の充実が必要である。市および県消費生活相談窓口は何人体制か。
- 答** 市相談員は1人、県は9人。
- 問** 市相談員の雇用形態は。
- 答** 非常勤の会計年度任用職員である。
- 問** 市民に寄り添った相談窓口とため、土日祝も開設すべきでは。
- 答** 以前は、県相談窓口の開設があったが、現在は平日開設のみとなっている。今後、サービス向上のため協議していく。



投票に関する権利保障と投票の方法周知の改善を

伊吹 裕 議員



- 問** 市民がより投票しやすい環境を整えることは当然のこと、今後に向けて検討していることは。
- 答** 公職選挙法の改正で可能となった「共通投票所」の設置や投票所への移動支援等が挙げられる。
- 問** 投票方法には、入院中の投票以外にはどのようなものがあるか。
- 答** 投票日当日の投票、期日前投票以外の投票方法は、不在者投票および在外投票がある。
- 意** 投票率を向上させるために、すでに一般に浸透している期日前投票所を市内3中学校区に1か所ずつもうけ、交通に不便があり、期日前投票に行きにくい地域でも投票しやすい環境を整えるべき。
- 問** 市営住宅の現在と今後「住まいの権利保障を」
- 答** 市営住宅の供給戸数についての考えは。
- 問** 住宅の供給戸数については、応募状況や社会情勢を注視しながら、適切な戸数を提供できるよう努めていく。
- 問** 万博への児童・生徒招待事業のその後
- 答** 万博への児童・生徒招待事業について市内小・中学校の現在の参加意向は。県が実施した活用希望調査において、市内全ての学校が「希望しない」という結果だった。



余裕教室の活用で地域の課題解決を

谷口 律香 議員



- 問** 大宝東小学校が「将来的に廃校になる」「高齢者施設に転用される」といった噂が流れているが、具体的な計画や方向性は。
- 答** 現時点では具体的な計画はない。
- 問** 今後の児童数の推移は。
- 答** 令和7年度は35名、令和12年度は263名とみている。
- 問** どのような条件が整った場合に、廃校や施設転用の検討を開始するのか。
- 答** 現在、条件や基準はない。
- 問** 市内小中学校にある18の余裕教室の有効活用に関する具体的施策は考えているか。
- 答** 今後、全庁的に検討を進めていく。
- 問** コミュニティセンター大宝東において学区住民の利用率が低いと伺っており、地域に馴染んでいない印象がある。利用率は把握しているか。
- 答** 把握していない。
- 問** 市民から、コミュニティセンター大宝東の移転や補完施設などを希望する声は上がっていないか。
- 答** 意見をいただいたことがある。
- 意** 余裕教室を校区コミュニティ事務局に転用している事例もある。地域の課題解決やニーズに応じた活用も視野に入れ、市民の声を傾けながら検討を進めていただきたい。



▲大宝東小学校



▲余裕教室の活用事例



効果的な地域おこし協力隊制度の導入で本市の課題解決を

島田 利恵 議員



▲総務省平成28年度
地域おこし協力隊
受入態勢・サポート
態勢モデル事業
調査報告書



▲市長も参加の地域おこし協力隊制度説明会

意 新しい制度を学び、導入にチャレンジできる環境作りをしていただきたい。

答 地域おこし協力隊の勉強会に参加し、課題解決に大変有効であると思つたことから、総合調整会議で導入に向けて検討するよう先月指示をした。本市のできてこなかつた点を踏まえながら導入が目的とならないようにしながら手段として検討を進める。

問 市長の見解は。

答 企業版ふるさと納税人材派遣型と共に課題解決の選択肢に入るように職員の制度理解を深めていく必要があると考える。

問 今後の導入予定は。

答 「相談しやすい環境」「政策が伴走的に支援する環境を整えていくことが肝要と思う。職員理解の促進は必要であり、説明会や研修は不可欠と考えている。

問 理解不足ではそもそも有効か最悪か判断できないのではないかと。

答 所轄部署で課題解決に有効で最適と判断した場合、所轄部署主導で地方創生課と連携し募集手続きに入るが、各所属から申し出が無かつた。職員の制度に対する理解不足の面も否めない。

問 本市における地域おこし協力隊の導入が無い理由は。

誰一人取り残さないデジタル社会の実現を

田村 隆光 議員



▲栗東市公式LINE登録ページ



▲高齢者向けパソコン教室

問 行政業務のデジタル化が進んでいるが、各種証明書等の申請をオンラインで行なっている件数は。

答 アナログ申請を含む全申請件数は1万5238件、その内オンライン申請件数は1937件で、割合は12.7%である。

問 パソコンやスマホが得意な人と苦手な人では、手続き等の利便性に格差(デジタルバイド)が生じている。誰もがデジタル化の恩恵を受けられ同じ行政サービスが受けられるよう苦手な人への支援が必要と考えるが。

答 パソコンやスマートフォン等のツールが経済的・年齢的・身体的な理由により活用できない方へ、公共施設や教育機関において、デジタルリテラシー(デジタル技術に関する知識)の向上を図るための講座やワークショップなどのデジタルバイド対策を講じる。

問 8月から導入した栗東市公式LINEの目標登録者数と現状は。

答 今年度末で3500人、令和8年度末で6300人を見込んでいるが、運用開始から4か月で3000人を超えており順調に推移している。

防災訓練と消火栓の盗難被害状況

三木 敏嗣 議員



問 各自治会の防災訓練の状況は。

答 令和6年11月末の実施済数は68自治会。訓練回数は合計90回である。

問 消火栓格納箱盗難被害状況は。

答 11月末時点での被害は11自治会。消防用ホースの筒先14本。消火栓とホースの接続に用いるスタンドパイプ11本。同等品を新規購入する際の必要額は40万円程度見込まれる。

問 消防施設等整備補助事業では、補助率が1/3であるが、盗難被害対策として補助率を2/3等とし、自治会負担軽減措置の考えは。

答 既存の補助制度を活用して頂くようお願いはしているが、補助率については内容の見直しを開始したところ。昨今の物価上昇などを背景に補助率が適切であるのか否か等、近隣市の状況の確認作業に着手している。

利用し易い制度となるように改善に取り組み。

問 生活保護世帯の加算漏れはないか

答 ケース検討会議にて、支援方針、扶助費の金額等の検討・確認を行っている。基準の解釈に疑義がある時は、運用事例集などを確認し県に指導を仰ぎながら、間違いがないように注意を払っている。



▲消火栓用、ホース格納箱



通学路の交通安全の確保のために

青木 千尋 議員



特集

定例会

委員会

個人質問

委員会活動レポート

問 11月8日、朝8時30分ごろ目川地先の通学路の「信号のない交差点」で交通事故が発生した。幸い人身事故には至らなかった。市の通学路の安全点検の時期、回数状況は。

答 おおむね5〜6月の時期に各学校・園において1回実施している。

問 通学路等対策箇所対策状況一覧表では令和4年度は30か所となっている。このうち「交差点」は何か所か。

答 7か所である。

問 事故発生の場合は、原因解明とともに具体的対応が求められる。今回の事故についての対応は。

答 原因については特定できない。対応については一回り大きなストリップシールの張り直しで注意喚起をし、横断歩道手前に「横断者あり」の路面標示を設置する。引き続き危険箇所の把握・共有を図る。

問 ルールを守ることはもちろん大切だが、一歩踏み込んだ対応として、スピード抑制の「ハンブ」等の設置が必要ではないか。

答 今後さらなる対応については、道路形状や交通量などを踏まえ、検討していく。



▲事故後の路面表示の対応



▲事故現場

委員会活動レポート

総務常任委員会

埼玉県和光市、千葉県木更津市のまちづくりを視察

10月29日、複合施設「わびあ」について学ぶため、埼玉県和光市を視察しました。「わびあ」是和光市で初めてとなる PPP/PFI(公民連携)事業で誕生した複合施設。総合児童センター、市民プール、健康増進センターなどで構成され、和光の「わ」、輪になるの「わ」に、ユートピアや広場・仲間の「ピア」から名付けられています。地域のにぎわい創出につながる施設の雰囲気を感じました。



翌30日は、オーガニックなまちづくりについて、千葉県木更津市を視察しました。地方創生の一つとして、「オーガニック」をまちづくりの視点とし、木更津では地域社会を構成する多様な主体が一体となり、木更津市を人と自然が調和した持続可能なまちとして、次世代に継承しようとする取組みを「オーガニックなまちづくり」と定義。条例も制定し、地域一体となって「オーガニックなまちづくり」を推進されています。各分野での連携や具体的な取り組み、広報活動、今後の発展や展開等をお聞きしました。

●参加した議員の感想●

「わびあ」は地域密着型の施設であり、市民が参加できるイベントや講座が豊富に用意されていて、地元の文化、交流活動が活発に行われているのを感じた。地域社会にとって複合の利点を活かした施設であり、和光市の地域性にあった設計と運営がされていた。公共施設を複合化する利点を再認識した。

こんな質疑がありました

- 問** 「オーガニックなまちづくり」に関して、子ども達への取り組みは。
- 答** 中学生を対象にした出前授業により、「中学生からできるオーガニックなまちづくり」として、木更津産の農産物を買う、ごはんを残さない等、身近なアクションを紹介している。

● 環境建設常任委員会

横浜市の処分地（跡地：スポーツ施設）、世田谷区の馬事公苑を視察

11月5日、「神明台処分地(神明台スポーツ施設)」について、本市の旧RD最終処分場の跡地利用の参考とするため神奈川県横浜市を視察しました。神明台処分地は、平成23年3月に埋立が終了し、その敷地の一部はごみの中継施設や粗大ごみなどのヤードを設置して活用しているほか、スポーツ施設を整備しています。施設内には、野球場、サッカー場、多目的広場、芝生広場などがあり、地域の方々へ開放しています。



翌6日、「公園整備について」をテーマに東京都世田谷区のJRA馬事公苑へ。馬事公苑は、昭和15年に開苑後、昭和39年に東京オリンピック馬場馬術が開催され、令和3年に東京2020オリンピック会場として再整備された施設です。敷地面積は18万㎡(東京ドーム約4個分)、約70頭の「馬のいる公苑」として開放され、建物施設内にはレストランや図書スペースがあり、またジョキングや近隣保育の散歩コース等、地域住民の憩いの場として親しまれています。

● 参加した議員の感想 ●

健康運動公園のホースパーク構想のイメージは湧いたが、果たして栗東でこのような施設が維持・運営できるのかは、経費を含め民間で採算基準を満たすのかどうか、不安要素であると感じた。今後の公園計画の審査については、安定的維持が可能か、採算の基準を満たすのかも含め、十分な検討を進めたい。

こんな質疑がありました

- 問** スポーツ施設を地域の方々へ暫定開放されているが、施設の利用料金は徴収しているのか。また、維持管理については、
- 答** スポーツ施設の利用料金は処分地のため徴収していない。維持管理は、横浜市資源循環局が神明台処分地の維持管理の一環として、横浜市資源循環公社に委託をしている。また必要に応じて横浜市資源循環局がスポーツ施設設備等の修繕を行っている。

● 文教福祉常任委員会

国民スポーツ大会（レスリング）会場と北九州市の子育て支援施設を視察

10月9日、佐賀県嬉野市で開催されていた国スポ(レスリング競技)会場を訪れました。来年度に迫る本市での開催に向け、会場運営およびスタッフ、ボランティアの動きなどについて見学しました。駅でのモニター中継や地元高校生のボランティア参加、地元物産品の販売、閉会式での大会ハイライト上映等、大会を盛り上げる工夫が随所にされていました。



翌10日は、北九州市立子育てふれあい交流プラザ「元気のもり」にて、施設の運営や子育て支援事業についてお話を伺いました。館内には、子どもが新たな発見や創造への喜びを感じられるさまざまな遊びのコーナー、日常生活空間を再現し子どもを不慮の事故から守る工夫を学ぶコーナー、一時預かり室、子育て支援サロン、保護者のリフレッシュスペース、子育て団体やサークルが活動できるサポータールームなどが設置され、子育て支援・親育ち支援・地域子育て支援の3つの視点から、子どもや子育てに携わるすべての人に配慮された施設づくりがされていました。



● 参加した議員の感想 ●

「元気のもり」では、ただ単純に「子どもたちの遊び場」としているわけではなく、教育的視点や施設にいても四季を感じられる工夫、子ども目線での設計、安全面などさまざまな配慮が見られ感動した。栗東市では財政的に厳しいところはあるが、いいところは取り入れながら子育て支援の充実に取り組んでいかなければと感じた。

こんな質疑がありました

- 問** 国スポ大会開催までの長期間にわたる活動の中で、ボランティアのモチベーションをどのように維持されてこられたか。
- 答** ボランティアのモチベーションは徐々にあげていくものと思う。リハーサル大会の他、100日前イベントや各種イベントへのブース出展や市内装飾など、市民向け気運醸成に努めてきた。

● 環境センター整備特別委員会

富山県砺波市、福井県大飯郡で環境センターを視察研修

今年度、市では環境センターの現・設置場所において更新整備を実施することを前提に、最適な整備手法を検討するため「栗東市ごみ処理施設整備基本計画」の策定をしました。

委員会では、10月22日に富山県砺波市の砺波広域圏事務組合クリーンセンターとなみを訪問。こちらの施設は平成3年2月より稼働し、老朽化による設備・装置等の



	砺波広域圏事務組合 クリーンセンターとなみ (富山県砺波市)	若狭広域行政事務組合 若狭広域クリーンセンター (福井県大飯郡)
竣工年	平成3年(1991年)	令和5年(2023年)
処理能力(1日あたり)	90t(45t/24h×2炉)	70t(35t/24h×2炉)
焼却炉形式	全連続ストーク式	全連続ストーク式
事業方式	DBO(公設民営)	DBO(公設民営)

劣化、処理能力の低下から基幹的改良工事を実施(平成31年2月～令和4年3月)されており、その内容を研修しました。翌23日は、福井県大飯郡の若狭広域行政事務組合若狭広域クリーンセンターに訪問。こちらは広域施設として令和5年3月に完成された最新鋭の施設となり、事業方式や最新設備について研修しました。

議会トピックス

● 議員間討議

「予算・決算審査のあり方」をテーマに議員間討議研修

11月15日に議員研修を開催し、青森大学社会学部の佐藤淳教授を講師に迎え『政策サイクル』につなげる『予算・決算審査』のあり方」と題して先進事例を学んだ後、議員がそれぞれの思いを聞き合いながら意見交換を行いました。議員間討議は、対話を深めながら、議会内の合意形成を創るプロセス。議会からの政策提言などにつながるため議会としての重要課題にも位置付けられており、昨年度に続き2回目の研修となります。よりよい予算・決算審査に向けて今後も議論を深めていきます。



アンケートにご協力ください

よりわかりやすく、手に取ってもらえる議会だよりをめざしてアンケート調査を実施します。皆さんの率直なご意見をお聞かせください!

▶二次元コード、または栗東市議会ホームページ・市公式LINEから回答ください(市公式LINEはお友達登録が必要です)。書面での回答をご希望の場合は議会事務局へお越しくください。(受付期間:2月20日まで)【所要時間:約1分】

アンケート回答はこちら



市公式LINEからのアンケート回答はこちら
(お友達登録完了後)



編集後記

暦のうえでの立春、2月3日からようやく令和7年乙巳(きのとみ)の始まりです。

乙は困難があっても紆余曲折しながら進むことや、大風に折れることのないしなやかさを持った草木を表し、巳は脱皮を繰り返したくましく成長することから、再生と変化を象徴していると言われます。

この一年を良い変化にするか否か。どのような新しいサイクルの幕開けとなるのか。

転換点をしなやかにたくましく捉え、大波を乗り越えていきたいものです。(梶原)

議会広報編集特別委員会

(委員長) 伊吹 裕 (副委員長) 谷口 律香

(委員) 梶原 美保 / 寺田 靖広 / 島田 利恵 / 奥村 明

●表紙写真

国スポ・障スポへのカウントダウン

